

人権・平和・環境

あしだかわ

発行

南部生涯学習センター(沼隈支所3階)
福山市沼隈町草深 1889 番地 6
TEL 980-7713
FAX 987-2382

Webは
こちらから



E-mail: nanbu-shougai-gakushuu@city.fukuyama.hiroshima.jp
福山市ホームページ (URL: <http://www.city.fukuyama.hiroshima.jp/>) から「あしだかわ」で検索

福山市南部生涯学習センター **検索**

センター人権・社会教育活動事業

あなたの「よし!」を未来に編み込むゼミナール
地域防災編

略称
「あみせこ」

みんなで防災、365日!

3回連続講座

其の三

～避難情報発令! その時どうする?～



参加体験型のシミュレーション教材 (EVAG) を通じて、避難行動の疑似体験をします。

EVAG (Evacuation—Activity—Game: 避難行動訓練ゲーム)

豪雨災害等における災害情報を受け取った個人が、避難行動とその行動によっておきる様々な判断、課題などを疑似体験し「自助・共助」の重要性を考えるための教材。

10月5日(土) 10:00~

場所 福山市人権交流センター(福山市佐波町262-3)

定員 24人(要申込み:9月2日から電話またはFAX, メールにて)

☆必要に応じて手話・要約筆記を依頼します。お気軽にご相談ください。

● 主催・問合せ 南部生涯学習センター 電話 084-980-7713 / FAX 084-987-2382
メール nanbu-shougai-gakushuu@city.fukuyama.hiroshima.jp



しかくしょう どう りゆう ひと えいりもくてき のそ ろくおん てんじ かくたい みと
視覚障がい等の理由がある人のために、営利目的を除き「録音」「点字」「拡大」などを認めます。

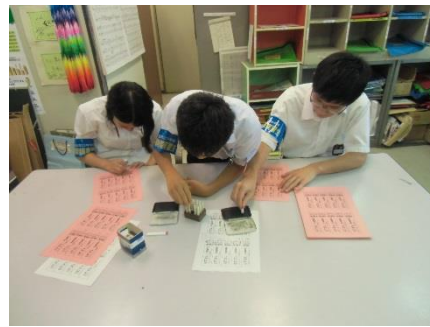
チャレンジ・ウィークふくやま

8月20日
~8月22日

8月20から8月22日の3日間、千年中学校の2年生が職場体験に来ました。

8月20日（火） チャレンジウィーク1日目

- ◆職場紹介
- ◆人権学習
- ◆事務作業
(会場設営・判子押し)
- ◆パネル展示
- ◆折りばらの練習



8月21日（水） チャレンジウィーク2日目

- ◆千年公民館「お化け屋敷」のお手伝い
- ◆「親の力を学びあう学習プログラム」体験
- ◆折りばらサロン



8月22日(木)
チャレンジウィーク3日目

- ◆瀬戸コミュニティセンター
「子育てサロン」支援
- ◆事務作業
事業チラシ印刷



～3日間の感想(抜粋)～

- ◆図書館でパネル展示をした時、いつも何気なく見ていることでも、たくさん工夫されていると初めて知りました。
- ◆「親の力を学びあう学習プログラム」を体験した時に、一人ずつ生卵をもって、それに名前や顔を書いて自分の子どもにしました。自分の子どもを手放す時どういう気持か、帰ってきた時どういう気持か考えました。また、子育てサロンのお手伝いでは、子どもたちと一緒にプールで水遊びをしたり、屋内で遊んだりしました。子育てがすごく大変なことが分かりました。
- ◆普段あまり気にしていなかったような仕事も、実際にやってみると思っていた以上に大変で疲れました。判子をおしたり、印刷をするだけでも、少しの失敗がいろいろな直しをしたりしないといけなくなるのが分かりました。

～まとめ(担当者)～

事業の運営にかかわって、準備の大切さや普段気付かない仕事に気づいてもらえたと思います。運営だけでなく、参加者にもなってもらいました。実施する側と参加する側の違いや、参加することによって実施の時に気をつけるポイントを見つけることができました。

日々の暮らしの中にも様々な仕事があることを意識して、自分の得意なこと・やりたいことを見つけてほしいと思います。三日間お疲れさまでした！

あなたの「よっ！」を未来に編みこむゼミナール（地域防災編）其の一《報告》

7月20日(土)10時から、小雨降る中あみゼミ其の一「みんなで防災、365日！～体験したからこそ、伝えたい～」を開催しました。

第1部では、はじめに昨年度の7月豪雨で被災された宜山学区川内町内会の当時の会長(現顧問)より、災害時の状況と被災後の対応、受けた支援、被災を通してご自身が感じられたこととお話いただきました。



町内会はもちろん、近隣の町内会および公的に受けた支援(ボランティア)の有り難みに加え、改めて感じられたとおっしゃる「日頃からのご近所づきあい」の言葉には説得力を感じました。

次に、広域災害救助隊という名称で仲間と共に活動されているボランティア支援者からは、復興に向けた活動の様子のスライドとともに、できる支援とは何かをお話いただきました。昨年の土砂災害で大きな被害を受けた倉敷市真備町での活動の様子を画像で映し出しながら、そこで行われた情報収集と提供、テクニカル支援・指導、被災者に加え支援者のケアなどの活動について報告していただきました。

支援活動を通して「被災者の意見を聞きながら、ともに進める」を基本に、住民・地域・行政と支援者で力を合わせることの大切さをお話いただきました。

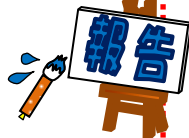
第2部では、参加者から寄せられた質問カードに丁寧に答えていただき、「災害は、忘れたところにやってくるからこそ、つながりを大切にしていましょう」というメッセージを参加者みんなで確認しました。

今回は、9月7日(土)、気象予報士と防災リーダーによる情報収集と避難行動のあり方です。

センター人権・社会教育活動事業

南部 なるほど！キャンパス

8月1日から15日まで、沼隈支所のロビーで、「みーんな地球の人間だもの」のパネル展示を行いました。



日本の絵本作家103人が「自分たちの表現手段で平和への思いを発信しよう」と、平和をイメージした自分たちの絵を持ち寄り、1冊の絵本「世界中のこどもたち」を作成したものをパネルとして展示しました。また、そのパネルを見て、福山の子どもが平和の思いを描いている様子を展示し、平和への思いを紹介しました。

絵本作家と平和を願うたくさんの方たちの熱意が人から人へ広がっていきますように。平和への思いが広がっていきますように。そのためにできることがあるはずです。



第37回 城西校区人権学習講座

誰もが住みよいまちづくりに向けて

○第1講座：講演

手話通訳あり

情報化社会の中の人権問題 ～部落問題を中心に考える差別の形と解消の道筋～



やまもと たかのり

山本 崇記さん

(静岡大学 人文社会科学部 准教授)

情報化社会の中で人権侵害が頻発している現状や、こういった社会の中でどのように人権を守っていくかなど、山本さんの経験、研究の中からお話いただきます。

9月27日(金) 19:00～
山手小学校 体育館

[主 催]城西校区人権学習講座実行委員会

[問合せ先] 南部生涯学習センター (Tel 980-7713)